

災害復旧事業

～ 道路施設の復旧状況 ～



(国)117号 北沢橋



H23.11完成



(一)長瀬横倉(停)線 長瀬



H24.10完成



H24.10完成

(一)箕作飯山線  
清水河原スノーシート



(一)秋山郷森宮野原(停)線  
当部



H24.7完成

復興関連事業

～ 生活の安全・安心を守る土砂災害対策 ～



整備効果

《安全な交通の確保》  
交通不能区間の解消による緊急輸送路の代替機能を確保



《生活環境の向上》

- ① 医療・福祉施設へのアクセス向上
  - ・箕作集落から特別養護老人ホームへのアクセス向上
  - ・明石集落から近隣医療施設へのアクセス向上
  - [明石集落～栄診療所：11km→6km 約10分短縮]
- ② 集落孤立化を解消する道路整備
  - ・北部地震では百合居橋被災により箕作ほか5集落の172世帯が一時的に孤立したが、当該道路整備により災害時の孤立が解消

《産業・観光・地域振興》

- ③ 農業施設の立地
  - ・箕作地区に栄村ライスセンターを立地
- ④ 観光施設への相互アクセスの向上
  - ・新設道路を利用した観光コースの設定
  - [野沢温泉 ⇄ 常慶院 ⇄ 北野天満宮]

～ 長野県北部地震からの復旧・復興  
そしてその先へ ～

県道箕作飯山線 箕作～明石工区  
明石大橋

祝 開 通



令和2年11月9日



県道箕作飯山線改修期成同盟会  
長野県北信建設事務所



# 事業の概要

一般県道 箕作飯山線は、栄村箕作地区を起点に、野沢温泉村を経由して飯山市に至る全長18.1kmの県道であり、このうち栄村箕作地籍から野沢温泉村明石地籍に約2kmの交通不能区間がありました。

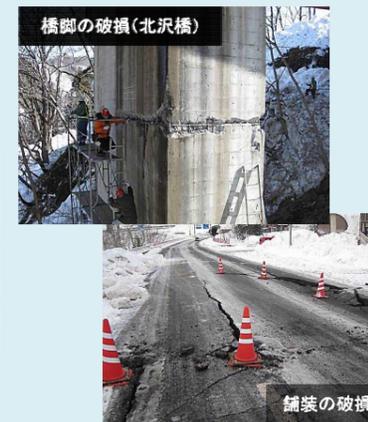
平成23年3月12日未明に発生した長野県北部地震により、第1次緊急輸送路である国道117号が被災し通行止めとなったことから、災害に強い道路ネットワークの構築が急務となり、平成24年度から復興交付金事業による 箕作から明石間（全長約2.5km）の道路整備に着手しました。

平成29年11月箕作平滝大橋の完成により、栄村箕作地区と平滝地区がつながり、一部供用を開始しました。このたび、明石大橋の完成により、栄村平滝地区と野沢温泉村明石地区がつながり、箕作飯山線全線が開通します。これにより、60年にわたる悲願であった交通不能区間の解消がなされ、栄村周辺地域の復旧・復興事業の全てが完了したことになります。

今後の両村の新たな交流と、沿道利用による地域資源を活かした産業の活性化が期待されるところです。

一般県道 箕作飯山線

国道 117号  
～ 長野県北部地震による被災状況 ～



箕作～明石工区 L=2,470m

交通不能区間 約 2 km



ひんご遺跡 (栄村)  
～ 縄文後期集落跡と火焔型土器 ～  
上段：調査区全景(東から)  
手前左は縄文後期  
前葉の敷石住居跡  
左下：縄文後期前葉の敷石  
住居跡  
右下：瓦版型土器出土状況



箕作平滝大橋  
延長：L=169m  
上部工：3径間連続鋼板桁橋  
下部工：逆T式橋台(A1、A2)  
張出式小判型橋脚(P1、P2)  
基礎工：場所打ち杭(A2)  
完成：平成29年11月



明石大橋  
延長：L=159m  
上部工：鋼2径間連続非合成箱桁橋  
下部工：逆T式橋台(A1、A2)  
T型張出式橋脚(P1)  
基礎工：場所打ち杭(A1、A2)  
ケーソン基礎(P1)

## 全体計画

延長 : 2,470m  
標準幅員 : 9.0m (2車線)  
設計速度 : 40km/h  
計画交通量 : 436台/日  
事業着手年度 : 平成24年度  
総事業費 : 約40億円

- 《主な構造物》
- 明石大橋 L=159.1m
  - 箕作平滝大橋 L=169.0m
  - 小箕作橋 L= 20.0m

